

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
このチェアは組立式になっておりますので、下記の詳細で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

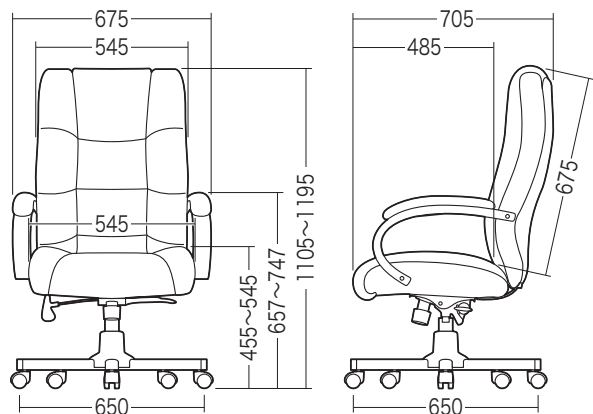
**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

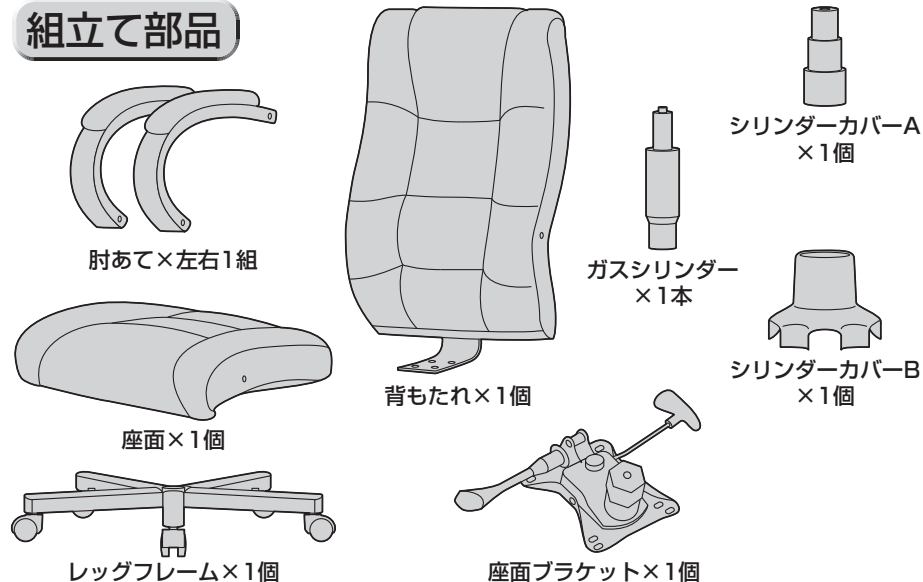
★用意していただくもの……

手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

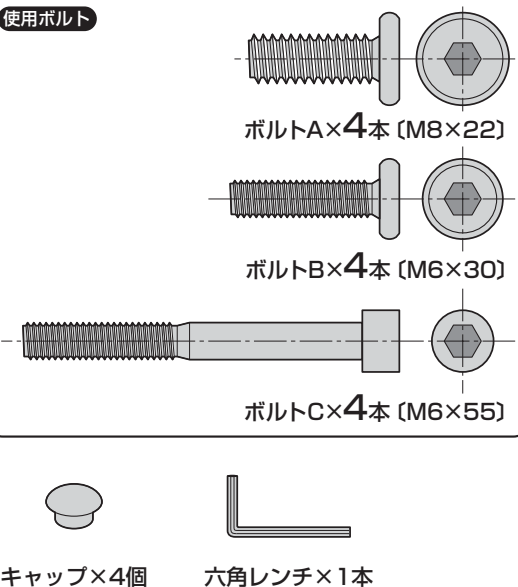
完成図



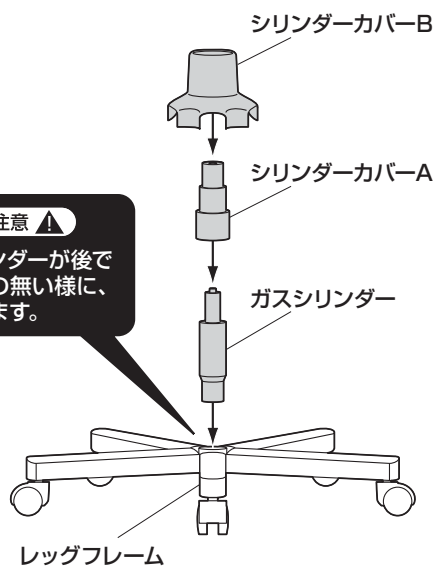
組立て部品



使用ボルト



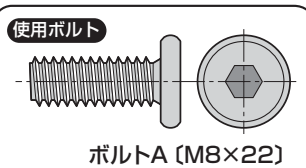
1 レッグフレームにガスシリンダーとシリンダーカバーを取付けます。



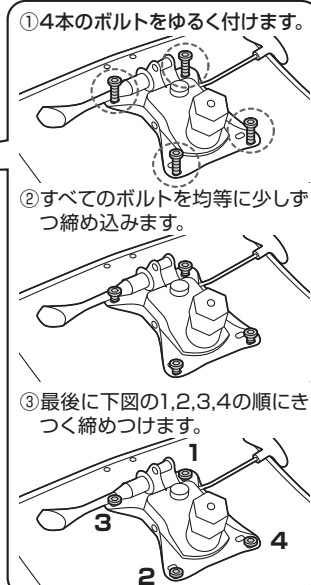
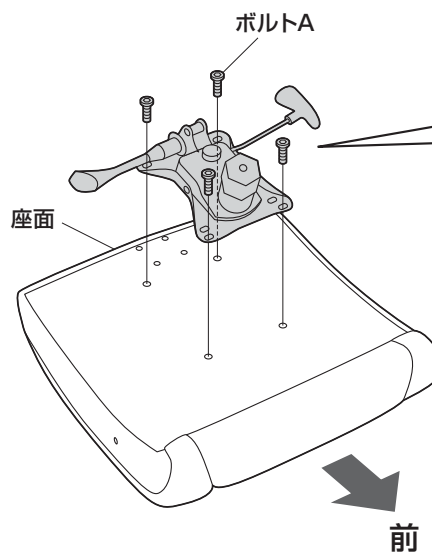
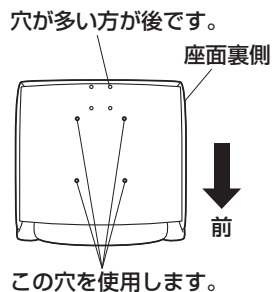
▲注意▲

ガスシリンダーが後で
抜ける事の無い様に、
押し込みます。

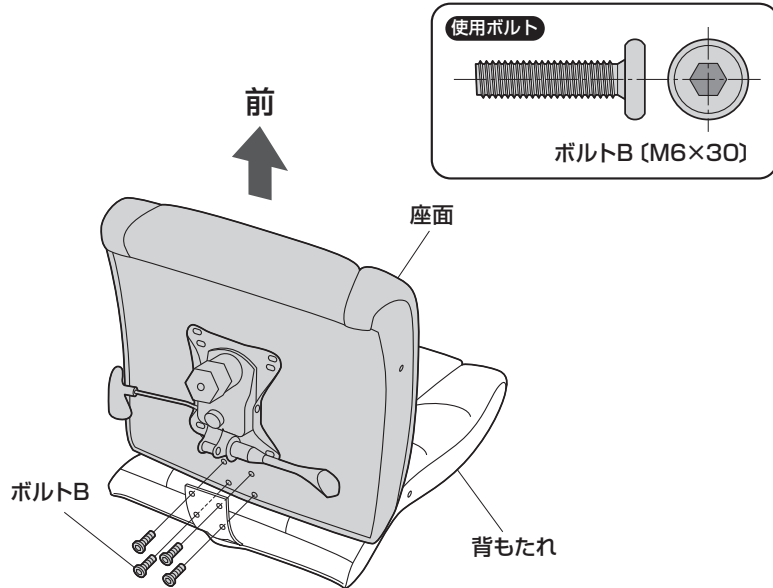
2 座面裏側に座面ブラケットを取付けます。



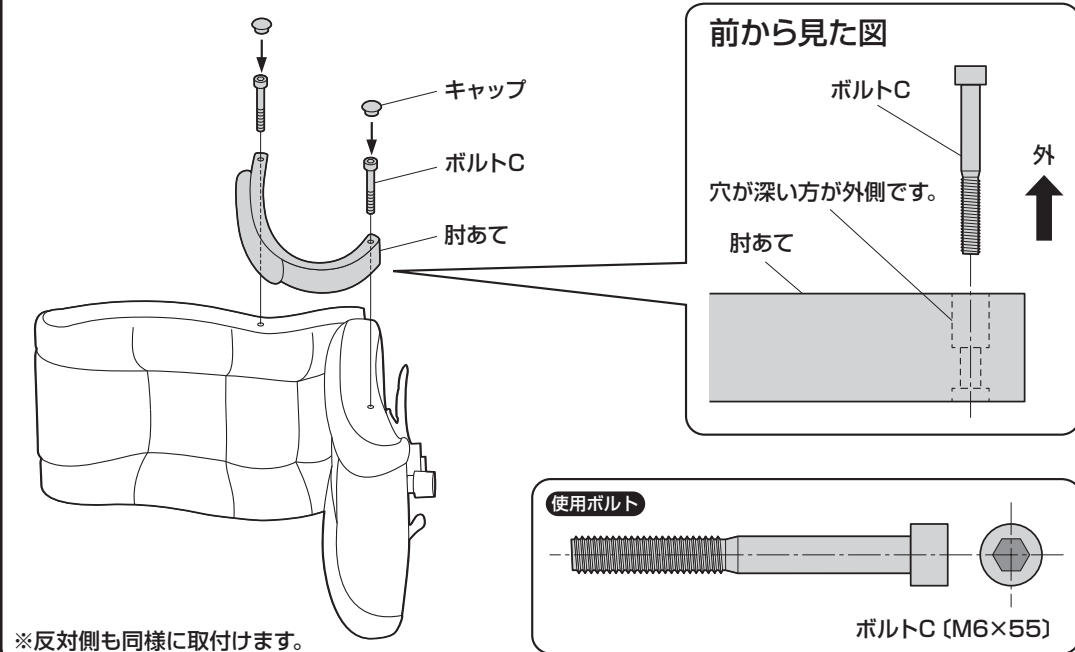
下から見た図



3 背もたれに座面を取付けます。

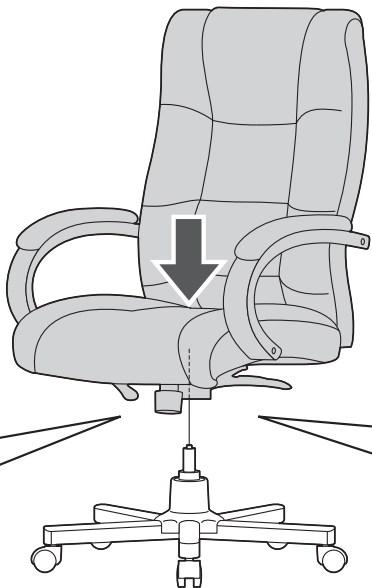
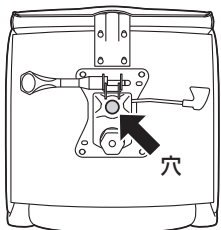


4 肘あてを取付けます。



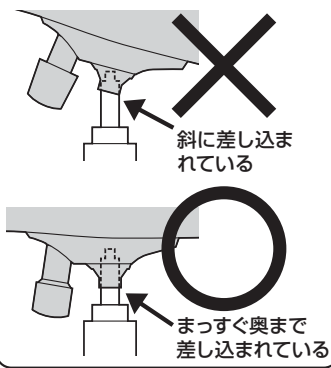
5 ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込んで、完成です。

下から見た図
座面の下の図の穴に差し込みます。



⚠ 注意 ⚠

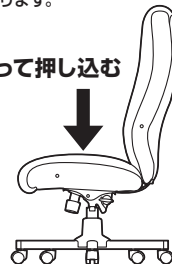
座面ブラケットをガスシリンダーに
まっすぐ奥まで差し込んでください。
座面ブラケットが斜に差し込まれて
いると、奥まで差し込まれず、ガスシ
リンダーが正常に作動しない場合が
あります。



※ガスシリンダーが深く
差し込まれるように、
座面にしっかり体重を
かけてください。

※ガスシリンダーが深く差し込まれ
ていないと、座面の高さ調節がで
きません。
※何度か座面に体重をかけてガス
シリンダーを確実に差し込んで
ください。
※体重の軽い方ではガスシリンダ
ーが深く差し込まれない場合が
あります。

座って押し込む



座面の高さの調節方法

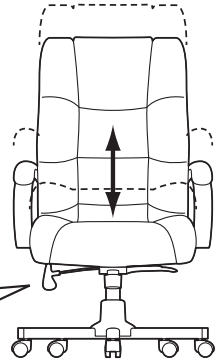


注意

レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。
正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面を差し込み直してください。

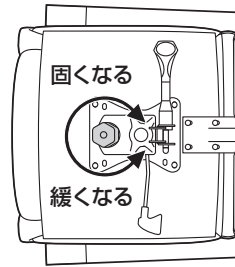


レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。

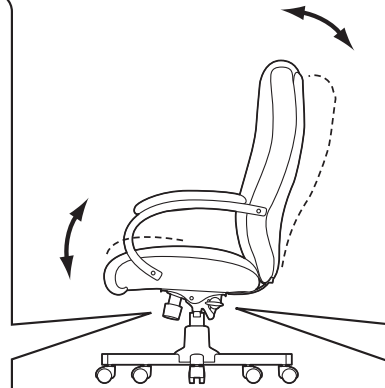


下から見た図

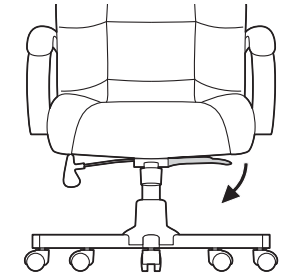
前 ←



下から見て、ツマミを時計回りに回すとロックングが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



前から見た図



レバーを矢印の方向に倒すと、任意の角度で固定できます。

チェアの品質表示

外形寸法：幅675×奥行705×高さ1105～1195mm（座面高さ455～545mm）

構造部材：背もたれ部・座部・肘あて部/合板 脚部/木材・スチール
キャスター部/ナイロン

張り材：本革レザー張り

クッション材：ウレタンフォーム

▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面の上に登らないで下さい。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。